第１回実力テスト・数学の問題

第１回実力テストの勉強（一つの受験勉強）は進んでいますか？　今回は数学の問題について出題範囲を見ていきたいと思います。「道標２号」（５月１日）には、次のＡ～Ｇの範囲を示しました。下の①～⑥の問題はＡ～Ｇのどれにあてはまるでしょうか？

Ａ　数・式の計算	Ｂ　１次方程式	Ｃ　連立方程式	Ｄ　１次関数	Ｅ　平面・空間図形
Ｆ　平行と合同	Ｇ　三角形、四角形			

① －７－（－５）　【公立入試 25 年度前期選抜・類題】　〔　　〕

② $6+(-2^2)\div\left(-\frac{1}{2}\right)$　【公立入試 21 年度問題】　〔　　〕

③ ３（２ａ－ｂ）－（ａ－３ｂ）　【公立入試25年度後期選抜問題】　〔　　〕

④ $-9ab^3\times\frac{2}{3}ab\div6ab^2$　【公立入試23年度後期選抜問題】　〔　　〕

⑤ $3x-2=\frac{5x+6}{4}$　【公立入試23年度後期選抜問題】　〔　　〕

⑥ $\begin{cases}0.5x-1.4y=8\\-x+2y=-12\end{cases}$　【公立入試 21 年度問題】　〔　　〕

答は上から順番にＡ→Ａ→Ａ→Ａ→Ｂ→Ｃです。このように、実力テストの出題範囲を見て、**どのような問題が出題されるか**がわかっていることがまずは必要です。その上で、１・２年の数学の教科書の章末問題やワーク、問題集などをやってみることが大事です。これは基本的に他教科も同様です。ただし、国語については、教科書に出てくる文章をもとに出題されるわけではありません。国語は実力テスト返却後に、しっかりと復習することが大事です。

さて、上の①～⑥は千葉県公立入試に出題された計算問題です。すべて大問の１番の問題で、入試問題のうち最も基本的なものです。大問２番以降は応用問題が主になってきます。したがって、数学が苦手な人も上の①～⑥の問題は解けるように勉強しましょう。入試や実力テストには文章題や応用問題も出題されるので、その対策も必要です。では、実際に上の①～⑥の問題をやってみましょう。解答は裏面を見てください。